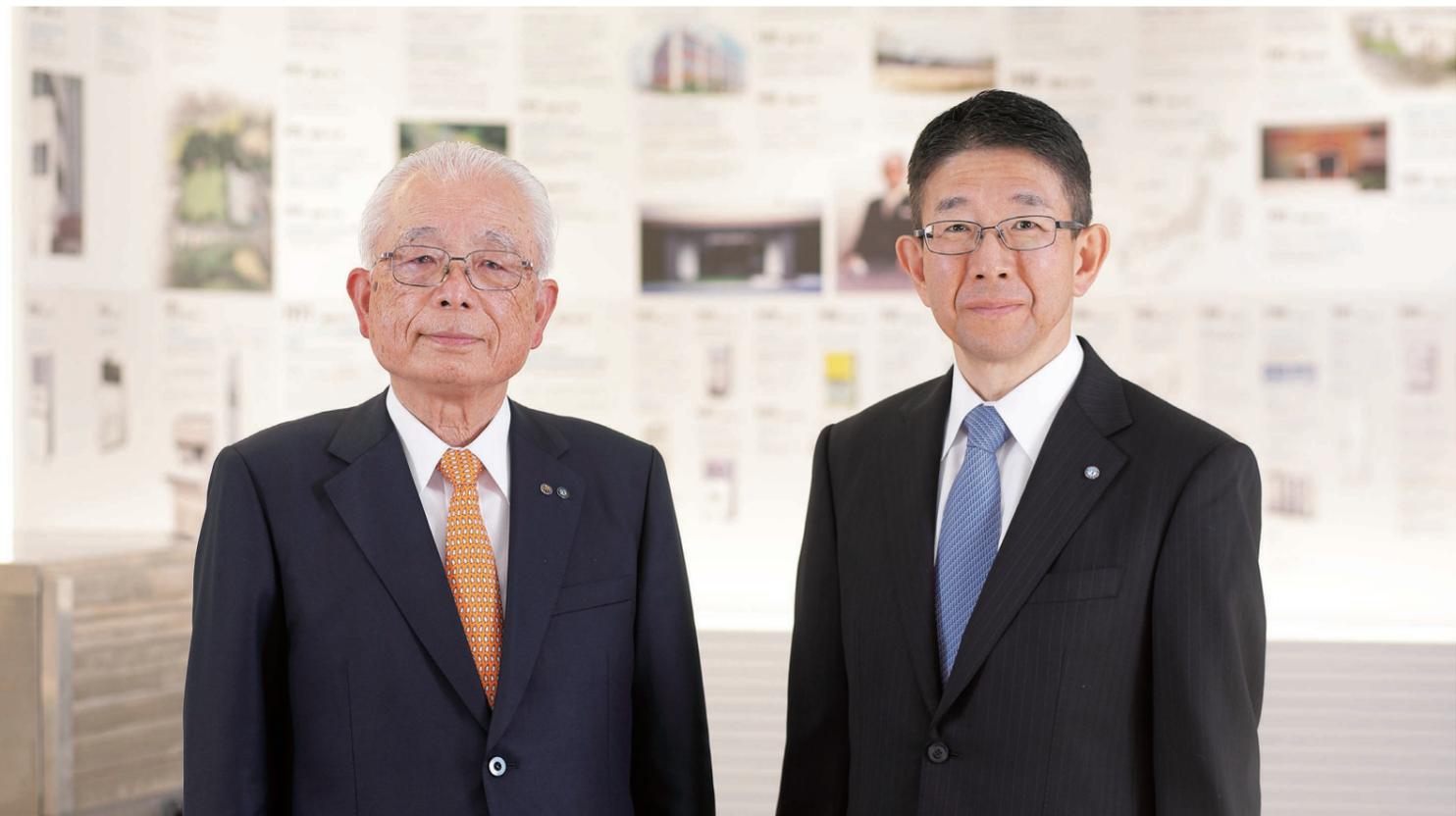


統合報告書2022発行にあたり



はじめに

ホシザキグループは「良い製品は良い環境から」を経営姿勢に掲げ、経営の透明性の確保や事業活動と環境との調和、働きやすい職場環境の構築や地域社会とのつながりなどを通じて、ステークホルダーの皆様とエンゲージメントをおこなう企業づくりに努めています。

近年、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)への取り組みの重要性が高まっており、グローバルにおいてはSDGs(国連の持続可能な開発目標)などの社会課題解決に向け、企業に求められる役割は一層大きくなっています。こうした中、ホシザキグループはステークホルダーの皆様の声を真摯に受け止め、その期待に応えていくため、ESG活動を情報開示も含めて経営の重要事項の1つと位置付けて、取り組んでいます。

ホシザキグループのお客様であるフードサービス業界においては、省エネルギー・低環境負荷・長寿命が重要な課題となっており、私たちが強みとする省エネ技術の追求やノンフロン化などを実現することで、気候変動対策に貢献する製品の開発・普及に努めています。また、お客様のご期待と信頼に応える品質保証やサービス・サポート体制の構築、社員が個々の能力を最大限に発揮し、意欲とやりがいを持って活躍できるよう、働きやすく安全で多様性を重視した職場環境づくりを推進しています。さらに、ホシザキグループの持続的成長に必要な経営基盤をより強固なものにすべく、実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制の構築やコンプライアンス・内部統制の強化に継続的に取り組んでいます。

ホシザキグループは将来の世代への責任を果たし、より良い未来を築くため、全社員の力を結束して、事業を通して社会課題の解決に貢献するとともに、存在意義(パーパス)に基づく持続的な成長を目指していきます。ステークホルダーの皆様におかれましては、この統合報告書がホシザキグループの経済価値のみならず社会・環境価値を高めるためのご理解につながれば幸いです。引き続き、温かいご支援をお願い申し上げます。

2022年7月

取締役会長 **坂本 精志**

代表取締役社長 **小林 靖浩**

統合報告書2022 INDEX

はじめに

- 01 統合報告書2022発行にあたり
- 02 INDEX

ビジョンと価値創造の基盤

- 03 経営理念と存在意義
- 04 ホシザキブランドの価値
- 05 成長の軌跡
- 07 事業概況
- 09 財務・非財務ハイライト
- 11 トップインタビュー

価値創造のための戦略

- 19 価値創造プロセス
- 21 価値創造プロセスのポイント
- 23 5か年経営ビジョン
- 27 国内事業の価値創造ストーリー
- 29 海外事業の価値創造ストーリー
- 31 財務・資本戦略
- 35 人的資本
- 36 知的資本
- 37 製造資本
- 38 社会関係資本

サステナビリティ推進と価値創造

- 39 ありたい姿の実現に向けたマテリアリティ
- 41 環境に対する取り組み
- 44 気候変動への対応(TCFD)
- 47 ホシザキグループのサステナビリティ
- 51 人材育成と社員の働きがいの向上
- 55 若手社員座談会

コーポレート・ガバナンス

- 57 コーポレート・ガバナンス
- 63 コンプライアンス・リスク管理
- 65 社外取締役メッセージ
- 67 ステークホルダーエンゲージメント
- 69 役員一覧

財務・企業データ

- 71 過去10年間の主要財務データ
- 73 財政状態および経営状況の分析
- 75 連結財務諸表
- 78 会社情報・株式情報

編集方針

ホシザキ株式会社統合報告書2022は、中長期的に経済価値のみならず社会・環境価値を高めていくためのビジネスモデルと戦略、資源配分をステークホルダーの皆様へ説明し、対話の参考にしていただくことを目的としています。本統合報告書は2022年に発表した5か年経営ビジョンや価値創造のさまざまな取り組みについて、存在意義や長期的にありたい姿と併せて、分かりやすく伝えることを心がけています。またホシザキグループの環境、社会、ガバナンスにおける取り組みも、優先すべき課題を含めて説明しています。

編集にあたっては、VRF(Value Reporting Foundation)の「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省の「価値協創ガイドライン」、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」などを参考にしています。

報告対象範囲など

対象組織：ホシザキ株式会社および連結・持分法適用のグループ会社

対象期間：2021年度(2021年1月1日から12月31日)を主たる報告対象期間としています。対象期間と異なる場合は注釈などを入れていきます。

対象読者：ホシザキグループと関わるすべてのステークホルダーの皆様

社名表記：「ホシザキ株式会社」「ホシザキ」「当社」はホシザキ株式会社単体を示し、グループ会社を含む場合は「ホシザキグループ」「当社グループ」と表記しています。

将来見通しに関する注意事項

本統合報告書の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、当社の将来に関する見直しおよび計画に基づいたものです。これらの将来予測はリスクや今後の不確定要素が含まれており、実際の成果や業績などは、本統合報告書の記載と異なる可能性がありますことをご留意ください。